

障がい児用シャワーチェアの開発
タカノ株式会社

【 報告書PDF 1.18 MB 】

1. 全体の概要

障がい児にとって入浴は、食事・療育と同等に重要な生活行為であるが、他の生活行為に比べ、介助者の負担が大きい行為でもある。入浴補助用具は海外メーカーからもいくつか製品が出ているが、浴室が広くシャワー浴が中心の海外と浴室が狭く浴槽へ浸かる習慣のある日本の違いより、海外メーカーの製品はサイズや仕様において必ずしも使い勝手の良いものではない。また、食事・療育等で使用される座位保持装置等に比べ、各メーカーから発売されている入浴補助用具の種類は非常に少なく、ここ数年新製品もあまり発売されていない。その為、介助者からは、入浴介助においてシャワーチェアの使用を望む声が多いが、使用したい製品が少ないとの声もあがっている。日本の浴室環境と使用者行動にマッチした入浴補助用具（シャワーチェア）が必要なのではないかと考えられる。

2. 開発した支援機器またはシステム

本機器では、現状の入浴補助用具に対して介助者が不満を抱いている「メンテナンス性：カビの発生」「洗いにくさ：背中・お尻・髪、腰等に負担がかかる」「浴室の大きさに合わない」「デザイン性の解決」を目指す。そのために、取り外し可能な背と座が分離している防水ウレタンシートを用いることで、メンテナンス性を向上させる。またコンパクトサイズにすることで、浴室で使いやすい大きさにし、洗体し易さを可能とする。本製品を市場に提供することで、障がい児の入浴の機会逸失による健康への悪影響を防ぐこと、また介助者の負担を軽減するで、介助者による障がい児の自立支援に費やされる時間の増加につながると考える。



図1 障がい児用シャワーチェア（試作機）